

おおむね 6か月から1歳3か月

発達
<p>座る、這う、立つ、つたい歩きといった運動機能が発達し、腕や手先を意図的に動かせるようになることにより、周囲の人や物に興味を示し、自分でやりたい気持ちが膨らみ、散策活動も活発になる。安心できる大人との応答的な関わりにより、情緒的な絆が深まり、喜んで一緒にあそび、やりとりが盛んになる一方で、人見知りをするようになる。また、身近な大人との関係の中で、自分の意思や要求を手、指差し、身振りや喃語などで伝えようとし、大人から自分に向けられた気持ちや簡単な言葉が分かるようになる。食事は、離乳食から幼児食へ徐々に移行する。</p>

養護
<ul style="list-style-type: none"> <li>一人ひとりの子どもの心身の発育や発達の状態を的確に把握し、生活リズムや保育時間などに応じ、適切な食事や睡眠が取れるようにする。</li> <li>身体や衣服など身の回りを清潔な状態にし、快適に過ごせるようにする。</li> <li>保育室や玩具は、常に安全で清潔に保つ。室内の温度、湿度に留意し、必要に応じて冷暖房器具などを使用する。</li> <li>母親からの免疫が薄くなり、感染症にかかりやすくなるので、子どもの健康状態を保育士等が把握し、異状のある場合は適切に対応する。</li> <li>室内外の温度、湿度に留意し、健康状態や活動に合わせて衣服調節をする。</li> <li>保護者と連携を取りながら、一人ひとりの子どもに合った生活リズムを整え、適切な援助や応答的な関わりを通して、生理的欲求を満たしていく。</li> <li>乳児突然死症候群があることを知り、睡眠中の子どもの様子（呼吸、顔色、仰向け寝、布団のかけ方など）を5分ごとに観察し、記録する。</li> <li>安心できる保育士等が応答的に関わり、気持ちを受容したり、共感したりして信頼関係を築いていき、心の支えとなるようにする。</li> <li>子どもと正面から関わり目を合わせ、表情を読みとり、一人ひとりの子どもに合った関わりを持つ。</li> <li>人見知りの時期は特定の保育士等が関わり、安心できる保育士等と落ち着いて過ごせるようにする。</li> <li>子どものリズムに合わせて、肉声で歌いかけることで、心地よさを感じられるようにする。</li> </ul>

教育に関わるねらいと内容		
	ねらい	内容
健康 ・ 人間関係 ・ 環境 ・ 言葉 ・ 表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>清潔で安全な保育環境の中で、気持ちよく過ごす。</li> <li>安定した生活リズムで、安心できる保育士等との応答的な関わりの中で、機嫌よく過ごす。</li> <li>安心できる保育士等に援助してもらいながら、きれいになる心地よさを感じる。</li> <li>旬の素材を活かした食事を、喜んで食べる。</li> <li>安全で安心できる環境の中で、自分で姿勢を変えたり、移動したり様々な身体活動を十分に行う。</li> <li>生活やあそびの中で、保育士等や友だちのすることに興味を持ったり、模倣したりする。</li> <li>興味のあるものを見つけて、喜んであそぶ。</li> <li>自然に触れて五感を刺激する。</li> <li>優しく語り掛けてもらったり、発語や喃語に応答してもらったりすることを喜ぶ。</li> <li>興味のあることや要求を伝えようとする。</li> <li>保育士等に、ゆったりと関わってもらいながら、絵本を読んでもらい、絵本に興味を持つ。</li> <li>聞く、見る、触るなどの経験を豊かにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>安心できる保育士等と一緒にふれあい、安定感を持って心地よく生活する。</li> <li>自分の要求を受け止めてもらい、心地よく過ごす。</li> <li>静かな環境の中で、安心して眠れるようにする。</li> <li>寝返り、座る、這う、つかまり立ち、伝い歩き、立つ、歩くなど、それぞれにあった活動を十分に行う。</li> <li>保育士等と一緒に室内や戸外の広い空間や段差で身体を動かすことを楽しむ。</li> <li>つまむ、引っ張るなど手指を使ってあそぶ。</li> <li>布オムツが汚れたらこまめに取り替えてもらったり、衣服をきれいにしてもらったりして心地よさを感じる。</li> <li>布オムツが汚れていないときには、チャンパーポットに座り、チャンパーポットでの排泄に少しずつ慣れていく。 ※チャンパーポットの説明は裏面</li> <li>保育士等に食べさせてもらったり、手づかみで食べたりする。</li> <li>様々な食品の調理形態に慣れ、喜んで食べる。</li> <li>保育士等と一緒にふれあいあそびやわらべうたあそびを楽しむ。</li> <li>好きな保育士等のすることに興味を持ち、模倣してあそぶ。</li> <li>手作りの布おもちゃや木製玩具など、好きな玩具であそぶ。</li> <li>好きなものを見つけ、一人あそびを十分に楽しむ。</li> <li>保育士等や友だちと一緒にあそぶ中で、友だちに興味を持つ。</li> <li>めだかぐみへ続くトンネルをくぐり、外界への興味を広げる。</li> <li>中庭やあいあいの森などでの散策を喜び、生き物や草花に触れてあそぶ。</li> <li>四季の自然の中で、陽の暖かさや風の冷たさなどを肌で感じる。</li> <li>安心できる保育士等から話しかけられることを喜び、喃語や片言でこたえ、やりとりを楽しむ。</li> <li>自分の要求や見つけたものに指差しをし、片言で伝えようとする。</li> <li>ゆったりとした中で、絵本を読んでもらい、指差しや喃語、片言で話したり、語尾を真似たりする。</li> <li>喜んで、素材の感触を手や足で触れてあそぶ。（布・水・砂・土・紙・小麦粉粘土など）</li> <li>保育士等の歌を喜んで聞いたり、歌やリズムに合わせて手足を動かしたりしてあそぶ。</li> <li>安全で握りやすい素材を使ってなぐり描きをする。</li> </ul>